

文学散歩

岡本弥太

がみた風景をたどる

人生はどちみち微笑だ。

水に依る漣だ。

泣くより笑うた方がよろしい。

「うたかたの記」より

2016年11月19日(土)

9:00～15:00

香南市赤岡町・香我美町界限

主催：高知工業高等専門学校

共催：絵金のまち・赤岡町家再生活用プロジェクト、香南市教育委員会

協力：高知県立文学館

どなたさまもご参加いただけます(事前申し込みが必要です)。

申し込み先：高知工業高等専門学校総務課企画係 電話：088-864-5643 FAX：088-864-5618 E-Mail：kikaku@jm.kochi-ct.ac.jp



昭和7年赤岡尋常小学校卒業写真より

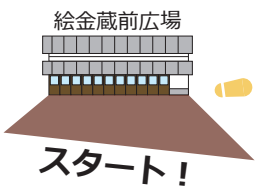
高知県の近代詩を牽引した詩人岡本弥太とゆかりの深い香南市香我美町・赤岡町を散策し、地域ならびに高知に根付く文学への興味・関心を深めてみませんか。

今回の散歩の出発点である赤岡町は、弥太が小学校教員として8年間勤めた町である。その間、詩集『瀧』を上梓し、全国的にも知られた詩人となる。また、散歩で向かう香我美町岸本は弥太が生まれ育った町であり、岡本弥太というひとりの人間が生きた場でもあります。

教員として地域に深く根ざした詩人「弥太さん」の足跡を辿り、その人と作品に触れる機会を設けることによって、詩人岡本弥太に再びまなざしを向けるきっかけとしたと考えています。

～文学散歩のおしながき～

弥太さんの生活や文学にまつわるエピソードを交えながら歩きます。



昭和3～8年まで弥太が勤務した赤岡小学校。この時代に「青騎兵」や「瀧」を発刊しています。



赤岡小学校を創設した初代赤岡村長の邸宅。大正期からは製靴店として親しまれ、弥太も年に2足はあつらえたといいます。



弥太の生家跡を通り抜け・・・



明治38年に弥太が入学した岸本尋常小学校。

少し先には弥太の墓所があります

昭和23年に「岡本弥太選集」発刊。同年7月に月見山の麓に詩碑が建立されました。



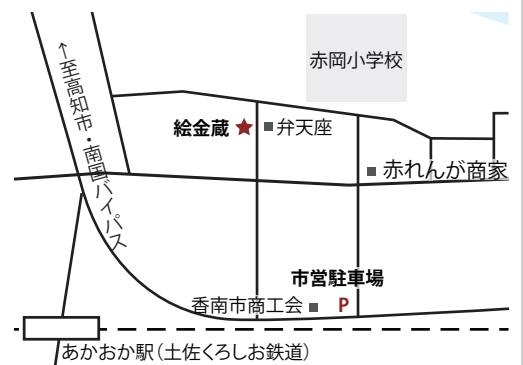
高専生と一緒に「あかおかるた」を使って現在の赤岡のまちを巡ってみましょう。お茶とお菓子の休憩時間もあります。

【参加費】 昼食・お茶とお菓子・保険代等(計1400円)を現地でお支払いください。

【定員】 先着30名

【集合場所】 9:00に絵金蔵前の広場へ集合してください。お車でお越しの場合は右記の駐車場をご利用ください。

【行程】 全行程は約5.5キロです。歩きやすい靴と動きやすい服装でご参加ください。



お申し込み

高知工業高等専門学校総務課企画係へ FAX もしくはお電話・E-Mail にてお申し込みください。

電話：088-864-5643 FAX：088-864-5618 E-Mail：kikaku@jm.kochi-ct.ac.jp

ふりがな

お名前

性別

年齢

住所

連絡先電話番号